



会 議 録

八幡市教育委員会

| | | |
|---------------|---|--|
| 開催日時 | 令和5年5月23日（火曜日） 午後3時～午後4時10分 | |
| 場所 | 本庁舎3階 教育委員会室 | |
| 出席委員名 | 小橋 秀生（教育長） 橋本 陽生（職務代理者） 佐野 恵理子 | 八頭司 めぐみ 狩野 理恵子 |
| 委員を除く出席者の職・氏名 | 部長 辻 和彦 参与 川中 尚 参事 高瀬 栄津子 こども未来課主幹 山口 潤也 子育て支援課長 成田 孝一 図書館長 小坂 富美子 図書館館長補佐 大村 昌義 生涯学習課長 辻 博之 | 文化財課長 田 制 亜紀子 教育支援センター所長 安 達 里 香 教育集会所館長 山 中 友 順 男山児童センター館長 日 根 青 樹 こども未来課 加 川 美 和 |

1. 開 会

2. 報 告 事 項

- (1) 令和5年度研究指定校等について (こども未来部参与) ※資料1
- (2) 令和5年度八幡市立幼稚園、小・中学校の在籍者数・教員数（市独自速報値）の結果について (こども未来課) ※資料2
- (3) 令和5年度放課後児童健全育成施設入所の児童数について (こども未来課) ※資料3
- (4) 令和5年度八幡市教育支援センター事業方針について (教育支援センター) ※資料4
- (5) 第七回 徒然草エッセイ大賞について (生涯学習課) ※資料5

3. 議 題（協議事項）

- (1) 八幡市図書館協議会委員の委嘱について (市民図書館) ※資料6
- (2) 八幡市の教育行政について

4. その他

- ・学校訪問について

5. 配付資料について

- ・令和5年度山城の教育
- ・きょうとふの教育 No.152

5. 閉 会

※次回定例教育委員会

日時：6月22日（木）午後3時から

場所：庁舎3階 教育委員会室

※学校訪問先

八幡幼稚園（10：00）

さくら小学校（11：30）



| 内 容 | |
|-------------|---|
| [教 育 長] | <p>1. 開 会 それでは、令和5年5月度の定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>2. 報告事項をお願いします。報告事項(1)「令和5年度研究指定校等について」、事務局より報告願います。こども未来部参与。</p> <p>2. 報 告 事 項 (1) 令和5年度研究指定校等について</p> |
| [川 中 参 与] | <p>令和5年度研究指定校等について、ご説明させていただきます。お手元の資料1をご覧くださいと存じます。</p> <p>基本的には昨年度と大きく変更はしておりません。変更したところだけ少しお話をさせていただきます。</p> <p>まず、特別支援教育充実事業。これは府の方の事業でありまして、特別支援教育支援員の配置していただいている部分ですけれども、今年度新たに南山小学校に追加という形になっております。それから食に関する指導充実事業。これは栄養教諭を配置していただいている事業でございますけれども、概ね3年間に1回まわしておりますので美濃山小学校から橋本小学校へ今年度変更という形となっております。</p> <p>山城地方豊かな学びをはぐくむ教科担任制研究指定事業ですけれども、3年間南山小学校の方で理科の専科の研究をしてみたいという形で今年度から橋本小学校で同じく理科の専科教育という形で取組を進めていくところでございます。以上でございます。</p> |
| [教 育 長] | <p>ただ今の報告事項について、委員よりご質問等はございませんか。</p> |
| [橋 本 委 員] | <p>一番下の山城教育局の学校力向上トライアル校ですけれども、これは各学校それぞれ皆内容が異なるわけですね。もし教えていただければ何を重点にしておられるのか。</p> |
| [川 中 参 与] | <p>基本的にはそれぞれの学校で学力を重点にはされておりますけれども、特に橋本小学校では国語を中心とした取組を進めておられますし、男山第二中学校であればICTを活用したというところがメインになってくるかと思えます。男山東中学校は主体的対話的に深い学びというところをメインにされていると感じているところです。これら全て学校自らが手を挙げた形で指定を受けていますので、基本的には学校主体的な取組を支援するという指定校になっております。</p> |
| [教 育 長] | <p>他に何か質問ご意見等はございませんか。</p> |
| [橋 本 委 員] | <p>学力重視については兼ねてからいろいろ大きな課題を持っておられると思いますが、いま各学校が手を挙げるということになると経年的にずっと見ていると評価が全然対象にならないということが出てくるかと思うのですが、あるいは八幡市としてはこういう評価を特に重点として来年どうこうというのではなくて、継続的に底辺として置いておくという考え方とか、そのためには総力を挙げての人事、長けた人がある程度多めに入れるということも必要かと思うんですが、その辺りについては何かお考えなのか。</p> |
| [川 中 参 与] | <p>学力の状況ですけれども、ここ数年の全国学力・学習状況調査等を見ていまして本市の場合かなり学校間の差が大きいかなと認識しているところです。どちらかと言えば国語とかなかなか伸びるのが目に見えにくい教科と、算数のようにやったら割と結果がついてくるような教科、そのような形で直感的に特性を理解しているんですけども、まずは学校自らが自分たちの課題に応じた取組を進めていくことが重要であると考えておりまして、私どもとしてはそれを人事も含めて支援していくということが考えられるのではないかと。ただ全体として以前からずっと課題としてあるのが、英語の部分につきましては英検を全て中学3年生のうちに公費負担で受けさせているので、そのようなことをしながら全体的なレベルアップを図っていく状況かなと考えているところです。</p> |
| [教 育 長] | <p>他に何かご質問等はございませんか。</p> |
| [橋 本 委 員] | <p>今ちょっと人事の話が出ましたので。特にICTについては継続的に重点項目として国からも多額のお金を費やして求められているところでもありますけれども、八幡市としてもICTの専門家を育成するというところで、いろいろそれに長けた人を育てておられると思います。</p> |



| | |
|-----------|--|
| | <p>私もよく知らないのですがエバンジェリストを京都府が作る、増やしていくということで考えておられると思うんですけども、現在は何人くらいいるのか。あるいは今年どれくらいの方が出られるのか、採用等を教えてください。</p> |
| [川中 参与] | <p>エバンジェリストという形になったら今年度からの言い方かなと思うんですけども、今年度については小学校1名、中学校1名。過去2年間で合計4名作って派遣しておりますので、今年度で6名という形になるかなと考えています。またエバンジェリスト同士の交流も盛んに府としては支援していただいている聞いていますので、そういう情報とかを広く発信していただきながら全体としてのレベルアップを図っていくという風に考えているところです。</p> |
| [教育長] | <p>次に、(2)「令和5年度八幡市立幼稚園、小・中学校の在籍者数・教員数（市独自速報値）の結果について」、事務局より報告願います。こども未来課。 (2) 令和5年度八幡市立幼稚園、小・中学校の在籍者数・教員数（市独自速報値）の結果について</p> |
| [山口主幹] | <p>令和5年度八幡市立幼稚園、小・中学校の在籍者数・教員数について報告申し上げます。お手元の資料2をご覧ください。 この表は、前年度の数値を括弧書きしております。幼稚園でございますが、公立幼稚園の園児総数は167人で、昨年の183人より16人減少しており、前年比91.3%となっております。なお、有都こども園でございますが、保育園部分の56人が含まれた人数となっております。それを除くと公立幼稚園の総数は111人で、昨年の125人より14人減少し、前年比88.8%となります。各園の詳細は表のとおりでございます。また、表には掲載しておりませんが私立の幼稚園(こども園)の市内に在住する園児の総数は、528人で、昨年の563人でしたので、35人減少し、前年比93.8%の状況でございます。 次に小学校でございますが、小学生の総数は3,126人で、昨年の3,224人より98人減少し、前年比97.0%となっております。各小学校の詳細は表の通りでございます。 最後に中学校ですが、総数は1,619人で、昨年の1,644人より25人減少し、前年比98.5%となっております。各中学校の詳細は表の通りでございます。以上です。</p> |
| [教育長] | <p>ただ今の報告事項について、委員よりご質問等はございませんか。</p> |
| [狩野委員] | <p>幼稚園の園児数の減少がとても心を痛めているんですけども、全て単学級で10人を切るクラスがたくさんあるなと思います。本当に園っていう教育効果からしますとすごく少ない人数で保育が営まれているかと思えます。各園の園長先生をはじめ担任の先生は一生懸命努力をされているとは思うんですけども、少しでも効果を出すためにコロナも5類に入りましたし、何か今年度子どもが大勢の人と出会うというような糧づくりを考えていらっしゃるのかなと思うんですけど、ありましたら教えてください。</p> |
| [高瀬参事] | <p>コロナが5類になりましたので、今まで中止にしておりました園開放や各園の交流をどんどんやっていきたいなと思っております。幼稚園同士と保育園も交流を考えております。あとは地域の施設との交流も始めていこうかなと思ってます。</p> |
| [狩野委員] | <p>保育園との交流ということで、今後こども園に向けてそういうことも必要かと思うんですけども、年間計画を立てて交流が進んでいくという状況があるのでしょうか。それとともに第四幼稚園が5歳児の1組だけの園になりますので、第四幼稚園がする配慮等も子育て支援課としてお持ちでしたら聞かせてください。</p> |
| [高瀬参事] | <p>第四幼稚園に関しましては第三幼稚園との交流を考えていこうと思っております。5歳児しかおりませんので異年齢と交流等やっていきたいなと思っているのと、あと保育園は幼稚園と交流園が決まっておりますので、各園交流を進めていこうと思っております。</p> |
| [教育長] | <p>他に何かご質問等はございませんか。次に(3)「令和5年度放課後児童健全育成施設入所の児童数について」、事務局より報告願います。こども未来課。</p> |
| [山口主幹] | <p>(3) 令和5年度放課後児童健全育成施設入所の児童数について 令和5年度放課後児童健全育成施設の入所児童数についてご報告いたします。資料3をご覧ください。</p> |



| | |
|-----------|--|
| | <p>令和5年5月1日現在の入所児童数につきましては、1年生253人、2年生209人、3年生164人、4年生100人、5年生54人、6年生30人、合計810人となっております。令和4年5月1日現在と比較しますと、八幡小学校内は12人、男山児童センターは19人の増加となっております。一方、南山小学校で9人減少しております。入所児童数全体としては23人増加、前年比で申しますと2.9%増加している状況でございます。令和5年度放課後児童健全育成施設の入所児童数についての報告は以上でございます。</p> |
| [教育長] | <p>ただ今の報告につきまして、委員からご質問等はございませんか。次に(4)「令和5年度八幡市教育支援センター事業方針について」、事務局より報告願います。教育支援センター。</p> |
| [安達 所長] | <p>(4) 令和5年度八幡市教育支援センター事業方針について 八幡市教育支援センター所長の安達でございます。資料4をご覧ください。 令和5年度の八幡市教育支援センターの事業方針についてご報告いたします。教育支援センターでは以下の3点の事業を実施いたします。 まず、「教育相談」についてです。市内在住の保護者の方や各学校から様々な課題について電話または来所にて教育相談を受けます。定期的な相談を申し込まれた方についてはカウンセラーによる予備面接を経て、受理会議で龍谷大のスーパーバイザーによる助言も得て正式に受理しカウンセリングまたはプレイセラピーを実施しています。不登校児童生徒が通います教育支援教室「さつき」に通室している児童生徒も、必要に応じてカウンセリングまたはプレイセラピーを受けます。各学校や教育関係機関とも連携しながら相談活動を進めています。 次に、「不登校解消に向けた取組」についてです。八幡市の大きな教育課題であります不登校の解消に向けて、毎月各校の不登校の状況を把握し課題分析を行います。学校や関係機関と連携しながら、不登校の未然防止や早期発見に取り組んでいきます。また、不登校になった児童生徒については、教育支援教室「さつき」にて支援を実施します。課題に応じて小集団での指導や個別の指導をきめ細かく行って参ります。さらに、京都府の「不登校児童生徒支援拠点整備事業」によりス、クールカウンセラーとスクールソーシャルワーカー、心の居場所サポーターが教育支援センターに配置されます。これらの人的配置も活用しながら教育支援センターの機能強化を図って参ります。 最後に「特別支援教育」についてです。障がいのある児童生徒の日々の指導について、担当指導主事が各校の授業研究や通級指導教室の運営、指導内容について指導助言を行います。また、関係機関との連携のもと、障がいの状態に応じた教育相談を進めるための指導助言も行っています。以上、教育支援センターの事業方針について概要ではありますが報告をさせていただきました。八幡市の不登校に対応するために、本年度も職員一同尽力して参りたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。</p> |
| [教育長] | <p>ただ今の報告につきまして、委員からご質問等はございませんか。</p> |
| [狩野 委員] | <p>先ほど2つ目には上がっていましたが不登校解消に向けた取組の中で、不登校児童生徒を把握するとおっしゃってましたけれど、実際に今でしたらどの程度いますか。</p> |
| [川中 参与] | <p>不登校ですけれども、現在小学生43名、中学生116名となっております。出現率では在籍している子どもたちの中の出現率でいきますと、小学校で1.33%、中学校で7.01%となっております。令和3年度の国の基準と比較しますと小学校では国よりも低い出現率となっております。中学校は国よりも高い出現率、具体的に言いますと令和3年度八幡市の小学校が出現率0.91、国が1.30。同じく令和3年度八幡市の中学校が6.48、国が5.00となっておりますので、確かに国自体もかなり伸びてきています。八幡市はどちらかというと国よりも先に行くタイプですので、先に行っててやっとな国が追い付いてきたかなという状況と考えているところです。</p> |
| [教育長] | <p>他に何かご質問、ご意見等ありませんか。</p> |
| [橋本 委員] | <p>京都府自体が非常に細かくと言うかきっちり上げているので、どうしても高い出現率になっているのかと。それに合わせると八幡市も当然国よりも高くなるということはあるんですが、小学校に比べて中学校がかなり高い。これはちょっと見逃さないし中学校で本当に対応</p> |



| | |
|-----------|--|
| | <p>しているのかなと。クラスで一人いてもなかなか大変なのに、複数出るとこれこそ大変だ。そうすると学校の手を離れて支援センター等で、できるだけ助力いただきたいということになってくるかと思うんですが、実際に個人からの申告あるいは学校からの依頼と合わせて対応できている状態なのか、あるいは単にグレードに分けてそこまではできないという形で抑えられている按配になっているのか、この辺りの状況をもしお答えいただけるようであれば教えていただきたい。</p> |
| [安達 所長] | <p>就任させていただいてまだ2カ月ですけれども、この2カ月の様子を見た限りでは、電話相談し来所いただいたお子さんについては、教育相談や教育支援教室「さつき」の方に繋がっているかなと見ています。ただ、繋がるまでというのはもう少し課題があるかなと思っていますので、学校との連携等をこれからどのように繋げていこうかと教育支援センターでは相談しているところです。</p> |
| [橋本 委員] | <p>余裕はないかと思えますけれど、若干でも学校の方からこういう実態であると相当苦労されているというふうに思えますので、受け入れる受け入れないは置いておいても支援とか連携というのはぜひお願いしたいと思えます。</p> |
| [教育 長] | <p>他に何かありませんか。</p> |
| [狩野 委員] | <p>男山第三中学校に訪問させていただいた折に随分色々と工夫されて不登校の対策、少しでも学校に来られるように取組をされているんですけれども、その辺りと京都府の不登校児童生徒支援拠点整備事業、教育支援教室「さつき」との関連はどのような形でされているのか教えてください。</p> |
| [安達 所長] | <p>教育支援教室「さつき」とのつながりですが、男山第三中学校から教室相談員という形で教育支援センターの方に教諭に来ていただくというのを設けています。そこで当センターに来所している子どもたちについての交流や学校の様子について、交流を図っているところです。不登校児童については心の居場所サポーターが学校の別室に行ってみようかという様な誘いかけをして学校に繋げていくようなことが、昨年度から始まった取組ですが大分スムーズに進むようになってきたと報告を受けています。</p> |
| [教育 長] | <p>他に何かご質問、ご意見等ありませんか。</p> |
| [狩野 委員] | <p>随分色々とご尽力されていらっしゃるんだなと思えます。本当にその子たちの将来性も含めてなるべく少しでも学びが深まってということで、また今後ともご尽力よろしくお願ひします。</p> |
| [教育 長] | <p>他に何かありませんか。</p> |
| [橋本 委員] | <p>不登校はやっぱり人数的なものが非常に気になりますので、教育支援センターの方もご協力をお願いしたいということと併せて学校現場の方の負担がどの程度あるのか、あるいは対応できるのか。教職員が対応せざるを得ないということが第一にあるかと思えますので、この辺りのことが研修といっても色々な研修があったりしてなかなか難しい状況ではあるんですけれども、計画的なそういう専門的な知識、研修をされると対応される教員の方の精神的な負担度が随分変わる、あるいは相談の仕方も変わるということでより対象のケアに気を遣うのかと思うのですが、この辺りの先生方の研修、特に専門的にこういう事に興味があってもっと勉強したいと思われているICTじゃありませんけれども、そういう先生を育てるという辺りのところの動きはどのようになっているのでしょうか。</p> |
| [川中 参与] | <p>教職員の研修に係ることですけれども、市がやっている研修の中にも不登校の対策は当然入っていますし、各校から1名必ず来ていただいてやっているところです。専門的なところと言いますと、京都府の長期派遣を利用して今現在、男山第三中学校の教員が兵庫教育大学の方に臨床心理学の派遣という形で行かしてしまして、その教員が帰ってきたらそういう専門的なことを活かしながら、特に三中ですので先ほどご指摘もありましたけれども非常に多いですし、最近少し気になっているのは不登校が少し今までともまた変わってきたかな、新たな展開になってきているのかなと。不登校の多様性があるかなと思うので、今までであれば割と心理的なアプローチや精神的なアプローチが多かったけれども、例えば発達障害に起因するものであったり、それぞれの個性とかに起因するものであったり、また保護者の価</p> |



| | |
|-------------|--|
| | <p>値観に起因するものであったり、アプローチの仕方がそれぞれ今までみたいに一筋縄ではないところもありますので、そういうことも含めて非常に多様な学びが教職員の求められているのではないかと考えていますので、できる限り京都府教育委員会と連携しながら教職員の研修については取組を進めていきたいと考えているところです。</p> |
| [教 育 長] | <p>次に(5)「第七回 徒然草エッセイ大賞について」、事務局より報告願います。生涯学習課。</p> |
| [辻 課 長] | <p>(5) 第七回 徒然草エッセイ大賞について 第七回徒然草エッセイ大賞について、ご報告いたします。おそれいりますが、資料5をご覧くださいたく存じます。別途、チラシをお配りさせていただいております。 今回のテーマは「ときめき」であります。コロナ禍も漸く終息に向かひまして、前向きで希望に満ちたテーマを設定いたしました。約3年間、世の中を苛んだ“コロナ禍”も以前の日常が回復してゆきます。コロナ禍を踏まえた過去3年のテーマをこえて、ワクワクするような、前向きで希望に満ちたテーマとして、一人一人の「ときめき」が、これからの社会の幸せをつくってゆく、そんな願いが込められております。 受賞式でございますが、令和6年3月16日 石清水八幡宮清峯殿にて開催を予定しております。以上でございます。</p> |
| [教 育 長] | <p>ただ今の報告に、何かご意見、ご質問等はありませんか。</p> |
| [橋 本 委 員] | <p>市長の肝いりの事業ということで、担当の方も本当に熱心にやられ、また審査員の方もだいぶ慣れてこられたと言ったらおかしなことですけども、本当に神髄に迫るようなアピールをされておられますし、色々なご配慮もいただいているというようなことで、非常に定着してきたなあと、さらに広がってほしいなあと。審査員の方も含めてかなり色々なところでアピールされているんじゃないかなと、そして広がりをもっているんじゃないかなと。インフルエンサーでもあるかと思しますので、ぜひそういう広報的なものを後援にいただいているかと思うんです。あちらこちらに行かれた折にこういう事に触れていただくような、やんわりと広がる仕組みとか工夫をしていただいで、世界的に広がるのも若干ありますので、そういった面での広報活動をよろしくお願ひしたいなと思っております。 学校も大変かと思うんですけども、ICTが進む中で日常の日記をつけるじゃありませんけれども自分の身近な生活の人との気づき、こういったものを言葉に留める、周りの人たちとのつきあいの中で気づきを留める、日々生活する風景に触れて何か気づきを留める、こういう風な文字に起こすことで自分の考えを色々巡らせる、それを深めていく、また他の人の発表を聞いて自分の成長に繋げていくと、こういう色々な学習の場面が盛り込まれていると思います。ぜひこの辺りの学び、子どもたちに直結するようなことについてより発展させられるようお願いできたらなと思ひます。</p> |
| [辻 課 長] | <p>貴重なご意見ありがとうございました。広報周知については、芸能活動をされている方もいらっしゃると思いますので、周知をお願いしてまいりたいと思ひます。いま学校でも国語の授業等で取組をさせていただいている状況です。さらにまた取組をさせていただくよう学校に呼びかけていきたいと思ひます。</p> |
| [教 育 長] | <p>3. 議題に入らせていただきます。(1)「八幡市図書館協議会委員の委嘱について」を議題といたします。事務局より説明願います。市民図書館。</p> |
| [小 坂 館 長] | <p>3. 議 題 (協議事項) (1) 八幡市図書館協議会委員の委嘱について 図書館協議会委員2名の委嘱につきまして、提案させていただきます。資料4をご覧ください。 図書館協議会委員のうち、PTA連絡協議会からの選出委員が、役員改選で交代となりましたので、新たに役員に選出されました「梶井 裕里子(ますい ゆりこ)」氏の当該委員委嘱のご承認並びに校長会からの選出委員が本年4月の人事異動により交代がありましたので、新たに選出されました「小山 和幸(こやま かずゆき)」校長の当該委員委嘱のご承認をお願いするものです。 なお、任期につきましては、図書館法第15条及び八幡市立図書館条例第5条第4項によ</p> |



| | |
|-------------|--|
| | <p>り、前任者の残任期間の令和5年11月30日迄といたします。以上、ご審議いただきますようお願いいたします。</p> |
| [教 育 長] | <p>ただ今の議題につきまして、委員よりご質問等はございませんか。無いようでありますので、議題（１）についてお諮りいたします。議題（１）について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。</p> |
| [全 委 員] | <p>異議なし。</p> |
| [教 育 長] | <p>異議なしと認め、議題（１）八幡市民図書館協議会委員の委嘱については原案のとおり決定します。</p> |
| [橋 本 委 員] | <p>八幡市は非常に素晴らしい歴史の財産があり、石清水八幡宮に端を発し歴史で遡れば本当にもっともっと多くの方にお越しいただいて見学していただくに相応しい、そういうレベルの財産を持っているにもかかわらず、非常に少ない。まだまだ広報が足りないとか宣伝が足りないとか、認知度が低いと言うんでしょうか。地元の方も然り。遠方の方についてはちょっと置いておいて、八幡市の子どもたちが八幡市の歴史に触れる書物の充実に努めていただいていると思うのですが、学校訪問しましても子ども用の八幡市の歴史を知る書物というのが、私を見る限りではあまり見かけないんです。八幡市の個々の場所を学ぶパンフレットにしても、こども用のという用語があるかもしれないが、そういったものが充実しているのかどうか。この辺りのところについて、ちゃんと考えて推し進めて充実させているのか。デジタル教材についても充実を進めているんだと、或いはそういうことを考えているんだと、というような辺りをもしあれば教えていただきたい。その辺りのところが進められるようなことができたならあと。特に子どもたちに向けての教材、各学校の図書館への資料の充実、そのようなものがあれば学校でそういう取組をされた時にすぐに貸し出しできるぐらいの本の数というのでしょうか。私、観光ボランティアにちょっと興味があって行かさせていただいて、見ている限りでもそういう資料があまり見当たりにくいんです。また調べていただいて教えていただけたらと思います。</p> |
| [小 坂 館 長] | <p>4月から館長を拝命させていただいて委員がお訊ねのことが調べられていないのですが、先日も学校司書さんとの連携ということで、学校図書館と市民図書館が連携を図ることにより教材に関する資料など、要望に応じて学校図書館の充実と併せて市民図書館の蔵書の充実も図れるのではないかとということで、今年度も小・中学校の司書さんと高校とも連携をとってという形で交流を図っていこうとしています。またその中でどういった書物を充実させていけばいいのかということをお学校とも協力しながら入れていきたいと思っています。</p> |
| [橋 本 委 員] | <p>八幡市は素晴らしい歴史的なものを持っているのに、それがなかなか本の形や資料の形になって充実されていない。生涯学習の観点からも歴史に興味をもっておられる方がたくさんいるけれども、その方々に本という形やデジタル教科書或いはパンフレットという形で、手軽に学べるそういうものの充実が地元八幡市ではない。なかなか外の人に対してアピールもできないので、充実したらなあと希望を含めてお願いしたい。</p> |
| [川 中 参 与] | <p>数年前に子ども用の八幡の歴史という本を寄贈いただきまして、各学校の図書館には授業で使えるような形で50部程度は整備されています。私の知る限りではその1冊しかないと認識しております。オレンジ色のもので各学校に配架しています。小学校であれば3・4年生もしくは6年生が特に使いますので、その学年の方に置いている場合もあります。</p> |
| [教 育 長] | <p>次に（２）「八幡市の教育行政について」を議題といたします。委員の皆様から何かご意見ご質問等ございませんか。</p> |
| [狩 野 委 員] | <p>（２）八幡市の教育行政について 先日、京都新聞に中学生が英検3級以上49%という記事を見つけまして、先ほども八幡市の中学校3年生全員が英検を受けていると伺いましたので、八幡市としてはどの程度なのか教えてください。</p> |
| [川 中 参 与] | <p>今現在、資料を持ち合わせておりませんのでまた後で回答します。中学校3年生で英検を目指すというのは一応英検3級レベルですので、ただ全体的な傾向としてはそんなに多くはないと思っています。</p> |



| | |
|----------|---|
| [佐野委員] | 以前もお聞きしていますが、今年度が始まってプールの内容、小学校のプール改修状況と部活動地域移行について、八幡市として今後どのように進めていくのか、今の経過を教えてください。 |
| [川中参与] | プールですが、今年度くすのき小学校がスイミングスクールの方に民間委託という形で一緒にさせていただきます。すでに入札等でコナミスポーツさんに業者が決まりました。くすのき小学校からバスでコナミスポーツに行くという形で、時間数については学習指導要領にある指導時間10時間で、6月から11月の間で毎週火曜日に実施すると聞いています。それ以外の学校につきましては基本的に今まで通りですが、残りの7校については昨年度からやっていただいているプール清掃を業者委託しまして、非常に学校としてもありがたいという声を聞いております。 |
| | 部活動の地域移行ですけれども、昨年度準備委員会を立ち上げ、今年度検討委員会という形で進めていく状況にはなっていますけれども、まだ具体の姿が正直見えていません。一応方向性としては、できれば今年度末、3学期の一つぐらいいは施行できたらいいなという思いは持っておりますけれども、現実的にそこまで本当に行けるのかどうか。予算もかなり下がってきていますし、なかなか充実させていただいていないので、その部分もどうするのかというのがありますので、現時点ではそこまで行けるのはちょっと難しいのかなと感じているところです。ただ、本市の場合ですと大きくありませんので、割と小回りはきくかなとは思っております。昨年度末に一応保護者・子どもたち・教職員にアンケートも取っておりますので、その回答も参考にしながら検討委員会の方で検討していただいて、予算も含め考えなければならないものもありますので、できる限り適切に対応していきたいと考えています。 |
| [佐野委員] | 今聞いていると、あまり焦らない方がいいのではないかなと思うけれど、やっぱり地域との摩擦がすごく大きいというのがあるみたいで、あとプールの方ですけれども今年度1校だけですが、段々広げて行くような感じですか。 |
| [川中参与] | まだ予算をとる前の部分ですから現時点でどうこうって話は無いんですが、出来れば当然今後広げていける方向でいけたらいいなと思っています。 |
| [佐野委員] | 先日民間プールで死亡事件が起こりました。コロナ明けというのもあって指導する者が今までと違う状況にあるということの対応と、慣れにどっぷり浸かってしまってそんなことが起こりもしないだろうというのが積み重なったまま、コロナ明けの悲しい事件が起こってしまったので、プールだけではなくどの場所でも起こってくるであろうと思います。できるだけプールに関しては民間委託していただく方がある意味教職員の負担も減るのではないかなと思いますので、ぜひ1校ずつでも進めていっていただい何かいい方向に行けたらと思いますのでよろしくお願いします。 |
| [教育長] | 他に何かご意見ご質問等ございませんか。無いようでありますので、議題を終結いたします。次に、4. その他に入らせていただきます。本日の「園・学校訪問について」ご意見はございますか。 |
| [狩野委員] | 4. その他 本日は有都小学校と橋本小学校に寄せていただきまして、校長先生のお話を色々と伺いました。有都小学校ではICTの導入が随分進んでいるということで、弊害として国語力がちょっと心配だと校長先生が説明してくださいました。ICTを使って意見交換するとか自分の言葉できちんと述べ、それに対してまた意見を言うというような力が少し落ちてきてないかと案じてらっしゃいました。そんな中、次に橋本小学校に行きますと5年生が天気の話と曇りについてどういう風を感じるかという理科の授業をされていまして、そこですごくきっちり自分の考えを整理して話している姿を見ました。ICTを活用しながら自分できちんと自分の言葉で表現するということの大切さを垣間見してきました。有都小学校は本をどれだけ読んでいくか目標を立てて、今年から空き時間に読書活動をされていますし、その辺り国語力とICTの関係で何か考えていることがあれば教えていただけますか。 |
| [川中参与] | 国語力そのものの自体の定義づけが非常に難しい。言い換えれば時代によって変わってくる場所も非常に大きいかなと思っております。橋本小学校は特に話し合い活動をメインにず |



っと今まで取り組んできている経過がありますので、その辺の成果ではないかと思っています。ただ、何をやるにしても最低限一番大事なものはコミュニケーション能力というのが、人が生きていく上で非常に大事なところだと思いますので、その辺りについてはどこの学校も力を入れてくれているのかなと思うのと同時に、全体的な傾向になるかどうかわかりませんが、子どもたち自身が全体で討議したり話したりする経験自体がコロナ禍も含めて非常に減ってきたのではないかと。昔でいう学級会みたいなものが減ってきているのではないかなという気が少ししてきているところです。

今回、学校自体も全て教育活動を戻しておりますので、特によく言われている非認知能力に係るところではあるんですけど、教科だけでなく特別活動であるとかそういうところでの力が本当は発揮できる、つけるべきところなのかなと思っています。本市の場合熟知してきている点もございますので、その辺りが大事なかなと思っているのと同様に、例えば語彙力の問題がこの間急激に落ちてきているのではないかと学校の先生方と話していても指摘がありますので、その辺りについては何かもしかしたら手を打たなければならないのかなと感じているところです。市長も国語の力を大切に思っていますので、その辺りについてはずっと私共宿題として頭の中にありますので、今後またいい情報がありましたら教えていただければと思っていますところです。

[狩野 委員]

今日訪問させていただいた橋本小学校ですけれども随分老朽化が進んできているということで、校長先生も建物だけでなく校庭の木々も30年40年経ってきて、倒れたり朽ちたりというような状況にも気を配っていますということでした。こども未来課とも相談してすぐ対応していただいていますということで、雨漏りの件や渡り廊下の件を聞かせていただいたんですけど、本当に事故があつてからでは遅いですので、協力いただいて学校の安全を色々ご配慮いただけたらと思いました。

他に何かご意見等ございませんか。

[教育 長]
[橋本 委員]

昨年も同じような質問をしていたんですけど、語彙力の低下、体力低下などコロナ禍の後の影響がどのような形で現れてきているのか。デジタル的な情報力はあるんだけど、実際に身をもって書く・表現する・考える・書き写したりしなければなかなか自分の身につかない部分が素通りしてしまう。インプットになっていない、これが思考力になかなか還元されない。要はICTの活用とか指導法のところに行きつくのではないかと思います。使えればいい、使えば学力は自然についているんだとか、ICTを使ってどのような能力がつくか、それを使って今までにない力が発揮できるんだ、働き方改革になるような動きに繋がっていくんだ、或いは授業の場だけじゃないよと、家庭学習やその他色々な所での学びの場に繋がると、繋げなければならぬんだよと、そういうことも含めたICT活動の指導と使い方の思い込みというか誤解、この辺りのところが私知りませんので心配しているところです。まずコロナのような状態の中で子どもたちがどのような影響を受けているのか、何に大きな課題を積み残したまま次に進んでいっているのか。

今日も有都小学校で見せていただきましたが、新たな学力検査、タブレットを使うような試験になるんだと。課題として試験に対してスクリーンの小ささ、横読みの不便さ、学力以前の扱い方そのものの問題・課題で結果に誤差が出てしまう、この辺りのところを懸念されておられました。今後そういうことが積み重ねられて改善されていくのかと思いますけれどもそういう心配があった。特にコロナ禍の課題点について教えてください。

[川中 参与]

客観的に数字として挙がってくるのが今回の全国学力テストで出てくるのではないかと認識しております。ただやっぱり全体的な肌感覚で言いますと、子どもたち自身が、教育が実はそうなんですけれど、元を知らない子どもたちがいますよね。要は今の3年生までは元々の運動会がどういうものだったのかとか、そういうことを知らない子どもたちがいるんですよ。それを逆に言うと知らないからこそ新たなことを持っていけるところと、今まで教員にしても例えば水泳学習にしても当たり前前に教員がしていたことがその間なかったわけですから、それが伝達できなかった。新採であればプール指導をしたこともない教員がいるわけです。そういうところの経験もしくは体験の欠如がいい様に持って行けるのかマイナス



に持って行くのか。これは各学校の持って行き方としか言い様がない。ただ影響として間違いなく体験・経験の欠如が子どもや教員にとって常に大きいと感じています。

ICTの方ですが、ずっと先生方をお願いしているのはあくまでもICT教育は文房具なんだから、教育・各教科の本質が、あれさえ使っていればできるというわけではないよと。あれを使っていれば学力が上がると全然私も考えていませんし、そういう指導は全くしていません。あくまでも子どもたちが学力をつけるために使うツールであると。学校ってある意味真面目なので使わなければならないって思うんですよ。別に使わなくていい所は使わなくていいのであって、そうじゃない方が逆に効果が高いと思っております。何となく使ったらいいいという風に流れてしまうのはそうなんですけど、自分で書くとか自分でやっていくのは非常に大事だと思います。それと同時に利便性という点でいくと、いま学校のアンケート等はほぼタブレットで行っています。今までは紙で集めてきて正の字を書いて集計をしていたのが一瞬でできますので、そういう意味では利便性が高い所はどんどん使っていって、それをいかに分析していくかということが、今後私たちの使い方というか。あれに踊らされることだけは止めてほしいなと思っておりますし、学校では委員が言われたとおりICTの負の部分が出てきています。例えば今まではフリーにしていたので、T i k T o kであったりSNSを授業時間なのに我慢できなくてその場で見てしまうといった事例があり、学校の方からフリーにするのを止めてくれという話がありました。私共としては色々な情報がある中で子どもたちは生きているわけですから、それも含めて何とか指導してほしいとは思いますが学校の方としてもなかなか指導しきれないという現状がありますので、その辺りも現在非常に困っているという大変ですが、舵取りが難しいかなと思っております。多分子どもたちが生きていく時代になると、今私たちがスマホなりタブレットも含め不便だと感じる事が多分概ね解決はされると思うんですよ。例えば横読みの問題であったり止まってしまう問題であったりということも含めて。ただ、あくまでも使うのが人であるという根本的な所だけはずらさないように学校に話していかなければならない。どうしても先生方真面目ですので使うことに先に行ってしまうので、そこはちゃんとブレーキをかけながらやっていただきたいなと思っております。

[橋本委員]

新しい学習指導要領、どんどん新たな指導法に基づいて出されてきていますね。国語の時間だけが国語の時間じゃないような、探究的な学習とか総合的な学習の時間も学び方に繋がっていくようなところがあれば、グループ学習にタブレットを持ち込んで対話形式或いはグループの自主的な学びの中で発表させて、こういう展開が自由にいいところ取りで使えるような、子どもたちが主体的にそういうものに使われずに自分たちにいいところ取りで使っていくという風なことができるところが指導法として一番求められるわけですよ。

子どもたちは段々先生方がやっていかれるんでいいが、それに親がついていけない。急に入ってきたシステム、学び方ですので。こういう状況に一挙になりましたので、ぜひ子どもたちと学びを理解していくと同時に親の方がついていけるようなそういう環境も併せてお願いできたらなあと思います。

[教育長]

他に何かご意見ご質問等ございませんか。無いようでありますので、次に配付資料について事務局より説明願います。こども未来課。

5. 配付資料

本日の配付資料といたしまして、令和5年度山城の教育、きょうとふの教育 No.152です。

[山口主幹]

次に定例教育委員会につきまして、事務局から説明願います。こども未来課。

[教育長]

次回定例教育委員会は6月22日木曜日午後3時から教育委員会室で行います。学校訪問は、10時から八幡幼稚園、11時30分からさくら小学校となっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

[辻部長]

6. 閉会

他に何かございますか。以上をもちまして、5月度の定例教育委員会を閉会させていただきます。ご苦勞様でございました。

[教育長]

令和5年度研究指定校等について

研究指定校等

令和5年度 文部科学省指定

◆ 人権教育総合推進地域事業（八幡小を中心に市内全小・中学校）

令和5年度 文部科学省指定

◆ 学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業
（市内全小・中）

令和5年度 京都府教育委員会

◆ 京都式「学力向上教育サポーター」事業(まなび・生活アドバイザー配置)
（八幡小、くすのき小、中央小、男山中、男山第二中）

令和5年度 京都府教育委員会

◆ 特別支援教育充実事業
（さくら小・中央小・南山小・男山第二中・男山三中）

令和5年度 京都府教育委員会

◆ 食に関する指導充実事業（橋本小）

令和5年度 京都府教育委員会

◆ 不登校児童生徒支援拠点整備事業（教育支援センター）

令和5年度 山城教育局

◆ 山城地方豊かな学びをはぐくむ教科担任制研究指定事業（橋本小）

令和5年度 山城教育局

◆ 山城地方学校力向上トライアル校（橋本小・男山二中・男山東中）

令和5年度八幡市立幼稚園、小・中学校の在籍者数・教員数(市独自速報値)

資料 2

幼稚園別、年齢別園児数・教員数

令和5年5月1日現在 ()内は、前年度数値 (単位:人)

| 区分 園名 | 園数 | 市立 教員数 | 総数 | | 3歳 | | 4歳 | | 5歳 | |
|-----------|-------|-----------|---------|-----------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|
| | | | 組数 | 園児数 | 組数 | 園児数 | 組数 | 園児数 | 組数 | 園児数 |
| 総数 | 5 (5) | 23 (33) | 13 (14) | 167 (183) | 4 (4) | 50 (43) | 4 (5) | 45 (71) | 5 (5) | 72 (69) |
| 八幡幼稚園 | | 3 (4) | 3 (3) | 26 (20) | 1 (1) | 10 (5) | 1 (1) | 6 (10) | 1 (1) | 10 (5) |
| 八幡第三幼稚園 | | 3 (4) | 3 (3) | 46 (40) | 1 (1) | 17 (13) | 1 (1) | 15 (14) | 1 (1) | 14 (13) |
| 八幡第四幼稚園 | | 2 (3) | 1 (2) | 15 (33) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (1) | 0 (15) | 1 (1) | 15 (18) |
| 橋本幼稚園 | | 3 (4) | 3 (3) | 21 (28) | 1 (1) | 6 (8) | 1 (1) | 8 (7) | 1 (1) | 7 (13) |
| (有都こども園) | | 12 (18) | 3 (3) | 59 (62) | 1 (1) | 17 (17) | 1 (1) | 16 (25) | 1 (1) | 26 (20) |

小学校別、学年別児童数・教員数

令和5年5月1日現在 ()内は、前年度数値 (単位:人)

| 区分 校名 | 学校数 | 教員数 | 総数 | | 1学年 | | 2学年 | | 3学年 | | 4学年 | | 5学年 | | 6学年 | | 特別支援学級 | |
|-----------|-------|-----------|-----------|--------------|---------|-----------|---------|-----------|---------|-----------|---------|-----------|---------|-----------|---------|-----------|---------|-----------|
| | | | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 |
| 総数 | 8 (8) | 232 (238) | 140 (145) | 3,126 (3224) | 17 (16) | 465 (452) | 16 (19) | 457 (518) | 19 (18) | 516 (474) | 18 (19) | 466 (501) | 19 (22) | 498 (570) | 21 (22) | 568 (577) | 30 (29) | 156 (132) |
| 八幡小学校 | | 28 (30) | 15 (18) | 393 (402) | 2 (2) | 68 (54) | 2 (2) | 55 (56) | 2 (2) | 60 (69) | 2 (2) | 69 (60) | 2 (3) | 59 (70) | 2 (3) | 67 (79) | 3 (4) | 15 (14) |
| くすのき小学校 | | 36 (35) | 24 (23) | 494 (504) | 3 (3) | 76 (82) | 3 (3) | 85 (73) | 3 (3) | 71 (72) | 3 (3) | 69 (74) | 3 (3) | 73 (83) | 3 (3) | 85 (92) | 6 (5) | 35 (28) |
| さくら小学校 | | 23 (25) | 16 (17) | 362 (373) | 2 (2) | 59 (49) | 2 (2) | 49 (68) | 2 (2) | 65 (55) | 2 (2) | 50 (60) | 2 (2) | 61 (54) | 2 (3) | 52 (69) | 4 (4) | 26 (18) |
| 橋本小学校 | | 36 (32) | 22 (22) | 566 (570) | 3 (3) | 82 (98) | 3 (3) | 99 (91) | 3 (3) | 92 (80) | 3 (3) | 79 (87) | 3 (4) | 87 (108) | 4 (3) | 109 (89) | 3 (3) | 18 (17) |
| 有都小学校 | | 15 (15) | 8 (8) | 118 (119) | 1 (1) | 18 (15) | 1 (1) | 16 (25) | 1 (1) | 24 (20) | 1 (1) | 18 (14) | 1 (1) | 13 (23) | 1 (1) | 23 (18) | 2 (2) | 6 (4) |
| 中央小学校 | | 29 (33) | 14 (16) | 267 (272) | 1 (1) | 35 (33) | 1 (2) | 33 (44) | 2 (2) | 45 (42) | 2 (2) | 43 (42) | 2 (2) | 44 (44) | 2 (2) | 44 (41) | 4 (5) | 23 (26) |
| 南山小学校 | | 22 (21) | 14 (13) | 243 (240) | 2 (1) | 45 (32) | 1 (2) | 30 (40) | 2 (1) | 39 (33) | 1 (2) | 34 (39) | 2 (2) | 38 (41) | 2 (2) | 41 (43) | 4 (3) | 16 (12) |
| 美濃山小学校 | | 43 (47) | 27 (28) | 683 (744) | 3 (3) | 82 (89) | 3 (4) | 90 (121) | 4 (4) | 120 (103) | 4 (4) | 104 (125) | 4 (5) | 123 (147) | 5 (5) | 147 (146) | 4 (3) | 17 (13) |

中学校別、学年別生徒数・教員数

令和5年5月1日現在 ()内は、前年度数値 (単位:人)

| 区分 校名 | 学校数 | 教員数 | 総数 | | 1学年 | | 2学年 | | 3学年 | | 特別支援学級 | |
|-----------|-------|-----------|---------|--------------|---------|-----------|---------|-----------|---------|-----------|---------|---------|
| | | | 学級数 | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 |
| 総数 | 4 (4) | 142 (136) | 60 (62) | 1,619 (1644) | 16 (17) | 520 (546) | 17 (16) | 550 (494) | 16 (18) | 501 (550) | 11 (11) | 48 (54) |
| 男山中学校 | | 37 (34) | 15 (14) | 335 (332) | 4 (4) | 113 (116) | 4 (3) | 117 (84) | 3 (4) | 86 (112) | 4 (3) | 19 (20) |
| 男山第二中学校 | | 34 (34) | 14 (15) | 391 (409) | 4 (4) | 124 (126) | 4 (4) | 129 (128) | 4 (5) | 130 (145) | 2 (2) | 8 (10) |
| 男山第三中学校 | | 40 (37) | 17 (19) | 465 (477) | 4 (5) | 142 (159) | 5 (5) | 160 (146) | 5 (5) | 149 (156) | 3 (4) | 14 (16) |
| 男山東中学校 | | 31 (31) | 14 (14) | 428 (426) | 4 (4) | 141 (145) | 4 (4) | 144 (136) | 4 (4) | 136 (137) | 2 (2) | 7 (8) |

※幼・小・中の教員数(本務者)には、校長、教頭、教諭、講師及び休職者等を含みます。

令和5年度 放課後児童健全育成施設入所の児童数について

(単位:人、令和5年5月1日現在)

| 施設名 | 定員 | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 | 合計 | 令和4年 5月1日現在 |
|---------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------------|
| 八幡小学校内放課後児童健全育成施設 | 100 | 40 | 24 | 15 | 11 | 7 | 1 | 98 | 86 |
| 竹園児童センター内放課後児童健全育成施設 | 120 | 40 | 36 | 17 | 17 | 4 | 1 | 115 | 114 |
| 男山児童センター内放課後児童健全育成施設 | 100 | 41 | 25 | 26 | 11 | 8 | 12 | 123 | 104 |
| 橋本児童センター内放課後児童健全育成施設 | 160 | 40 | 48 | 33 | 19 | 14 | 2 | 156 | 151 |
| 中央小学校内放課後児童健全育成施設 | 80 | 15 | 14 | 15 | 4 | 0 | 0 | 48 | 51 |
| 有都小学校内放課後児童健全育成施設 | 50 | 12 | 6 | 10 | 4 | 4 | 5 | 41 | 40 |
| 南山小学校内放課後児童健全育成施設 | 70 | 16 | 12 | 5 | 8 | 7 | 2 | 50 | 59 |
| 美濃山小学校内放課後児童健全育成施設 | 100 | 20 | 27 | 22 | 12 | 7 | 7 | 95 | 103 |
| 子ども・子育て支援センター内放課後児童健全育成施設 | 100 | 29 | 17 | 21 | 14 | 3 | 0 | 84 | 79 |
| 合計 | 880 | 253 | 209 | 164 | 100 | 54 | 30 | 810 | |
| 令和4年5月1日現在 | | 221 | 215 | 157 | 124 | 56 | 14 | | 787 |

令和5年度 八幡市教育支援センター事業方針

八幡市教育支援センターは、令和5年度八幡市教育委員会「保育・学校教育の重点」にもとづき、園・学校・関係機関との連携を強め下記の事業を実施する。

1 教育相談

児童生徒の健全な成長、発達を願い、保護者や学校から、電話または来所等により相談を受ける。

相談申込みを受け、専門的な知識を有するスーパーバイザー（大学教授）より助言を得て、児童生徒及びその保護者に対してカウンセラーが、定期的にカウンセリング・プレイセラピーを行う。

また、教育支援教室に通室している児童生徒のカウンセリング・プレイセラピーも行う。

そして、相談活動を行っていく上で、各校の教育相談担当者やスクールカウンセラー等との連携を図り、より効果的な相談活動を進める。

2 不登校解消に向けた取組

本市学校教育の大きな課題である不登校の解消に向けて、不登校の状況把握及び課題分析を行い、各学校や関係機関との連携を強めるなかで、不登校児童生徒数の減少および不登校を未然に防止する取組を進める。

不登校児童生徒の学校復帰と将来の社会的自立に向けて、学校と密に連携を取りながらカウンセラーによる教育相談に加えて、教育支援教室において、通室児童生徒の課題を踏まえた小集団での指導や個別指導等、きめ細かで効果的な支援を進める。

京都府の「不登校児童生徒支援拠点整備事業」により配置されるスクールカウンセラー・心の居場所サポーター・スクールソーシャルワーカーを活用し、学校との連携をさらに進め、ICT活用も含め、教育支援センターの機能強化を図る。

3 特別支援教育

各学校園・関係機関と連携し、障がいのある幼児児童生徒の障がいの状態等に応じて、可能性を最大限に発揮させ、将来の自立や社会参加のために必要な力を培うという視点に立ち、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を行う。

教職員の特別支援教育に関する専門性の向上に向けて、校内研修・授業研究への指導助言、特別支援学級・通級指導教室の運営・指導内容についての指導助言、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育についての指導助言を行う。

また、特別な支援が必要となる、または可能性のある児童生徒へのより適切な支援を行うために、保育・幼稚園課や小中学校、八幡市教育支援委員会等関係機関との連携を進める。

第七回徒然草エッセイ大賞について

1. 応募内容

応募期間 令和5年6月2日（金）から9月21日（木）

テーマ 「ときめき」

コロナ禍も漸く終息に向かいつつ、前向きで希望に満ちたテーマを設定。

約三年間、世の中を苛んだ“コロナ禍”も漸く終息に向かいつつあり、いよいよ5月からは、以前の日常が回復してゆく。コロナ禍を踏まえた過去3年のテーマをこえて、ワクワクするような、前向きで希望に満ちたテーマとして、一人一人の「ときめき」が、これからの社会の幸せをつくってゆく、そんな願いが込められている。

2. 授賞式

日 時 令和6年3月16日（土）午後1時から（予定）

会 場 石清水八幡宮 清峯殿 第1・第2研修室

第七回 徒然草エッセイ大賞

つれ づれ びと
徒然人よ、
筆をとれ。

徒然草と八幡市

人生論や失敗談、心なごむ世間話から社会批評まで、兼好法師が、つれづれなるまま、心のおもむくままに綴った、鎌倉末期の著名なエッセイ集『徒然草』。八幡市にある石清水八幡宮(現・国宝)の参詣に臨んだが結局実現できず、「どんなことにも先輩や経験者の助言は必要」と結ばれる第52段は、とりわけ有名です。

募集テーマ

ときめき

もの、こと、ひと…何かにワクワク夢中になるとき、
私たちは自分自身に出会っているのかもしれない。
あなたはいま、何にときめいていますか？
どんなときめきがあなたを育て、人や社会に伝わりましたか？
あなたの印象的な「ときめき体験」を文章にしてください。

作品募集中!



選考委員

選考委員長

- 山極 壽一 (総合地球環境学研究所所長・人類学者)
茂木 健一郎 (脳科学者)
中江 有里 (女優・作家・歌手)
田中 恆清 (石清水八幡宮宮司)
寺田 昭一 (月刊誌「歴史街道」特別編集委員)
堀口 文昭 (八幡市長)

字数と賞

- 一般の部 [字数:2,000字(400字詰原稿用紙5枚)以内]
大賞1編(副賞20万円) 優秀賞3編(副賞5万円) 佳作5編(副賞1万円)
- 中学生の部 [字数:1,200字(400字詰原稿用紙3枚)以内]
大賞1編(副賞1万円) 優秀賞3編(副賞5千円) 佳作5編(副賞3千円) ※副賞は図書カード
- 小学生の部 [字数:800字(400字詰原稿用紙2枚)以内]
大賞1編(副賞5千円) 優秀賞3編(副賞3千円) 佳作5編(副賞2千円) ※副賞は図書カード

応募締切 令和5年9月21日(木) 必着

郵送・Eメール・ホームページから応募が可能です。

徒然草エッセイ大賞

検索

<https://www.tsurezure-essay.jp>



八幡市公式SNSで、八幡市の魅力など様々な情報を発信中!



【八幡市公式】
Twitter
@yawata_official



【八幡市公式】
LINE
@yawata_official



【八幡市公式】
Instagram
@yawata_official

- 主催:八幡市 八幡市教育委員会
共催:PHP研究所 協力:石清水八幡宮
後援:京都府 京都府教育委員会 歴史街道推進協議会
古典の日推進委員会 八幡市文化協会
(公財)やわた市民文化事業団 (一社)八幡市観光協会
八幡市商工会 八幡市工業会



八幡市

【八幡市公式HP】
<http://www.city.yawata.kyoto.jp/>



第七回 徒然草エッセイ大賞 募集要項

京都府八幡市が創設した「徒然草エッセイ大賞」は第七回を迎えます。
全国から優れたエッセイ(随筆)作品を募集いたします。今回のテーマは「ときめき」です。

募集テーマ「ときめき」

もの、こと、ひと…何かにワクワク夢中になるとき、
私たちは自分自身に出会っているのかもしれない。
あなたはいま、何にときめいていますか？
どんなときめきがあなたを育て、人や社会に伝わりましたか？
あなたの印象的な「ときめき体験」を文章にしてください。

字数と賞

| | |
|-------|--|
| 一般の部 | 2,000字(400字詰原稿用紙5枚)以内 大賞1編(副賞20万円) 優秀賞3編(副賞5万円) 佳作5編(副賞1万円) |
| 中学生の部 | 1,200字(400字詰原稿用紙3枚)以内 大賞1編(副賞1万円) 優秀賞3編(副賞5千円) 佳作5編(副賞3千円) ※副賞は図書カード |
| 小学生の部 | 800字(400字詰原稿用紙2枚)以内 大賞1編(副賞5千円) 優秀賞3編(副賞3千円) 佳作5編(副賞2千円) ※副賞は図書カード |

応募方法

作品とは別の用紙に ●作品タイトル ●氏名(フリガナ)
●年齢 ●性別 ●職業 ●学校名と学年(小中高生の場合)
●郵便番号 ●住所 ●電話番号 ●この賞を何で知ったか
●(お持ちの場合は)Eメールアドレスを明記し、必ず作品に
添付して「郵送」「ホームページ内所定フォーマット」又は
「Eメール」のいずれかで下記へご応募ください。

宛先:「徒然草エッセイ大賞」事務局

〒614-8501 京都府八幡市八幡園内75
八幡市政策企画部生涯学習課 ☎075-983-3088
✉ yawata@tsurezure-essay.jp
🌐 <https://www.tsurezure-essay.jp> 徒然草エッセイ大賞 検索



応募締切

令和5年9月21日(木) 必着

入選作発表

- 令和6年2月初旬までに、入選者に結果を通知します。
- 令和6年2月末までに入選作を発表し、専用HPで作品名と入選者名を公表します。
- 授賞式の翌営業日に、専用HP上で入選作品全文を公表します。
- 大賞3作品は、小説・エッセイ文庫「文蔵」(PHP研究所発行)誌上に採録します。
- 「入選作品集」を作成し、入選者に提供、図書館等に配布します。

授賞式

令和6年3月16日(土) 午後15時に石清水八幡宮で授賞式を行います。大賞および優秀賞受賞者には旅費を負担します。
※佳作受賞者は自己負担をお願いします。

<応募上の注意>

- *プロ・アマは問いません。どなたでも応募できます
- *応募は1人1作品に限ります
- *国籍は問いませんが、日本語作品に限ります
- *応募作品はオリジナルで未発表のものに限ります
(著作権問題や二重投稿が判明した場合は失格とし、
入選決定後に判明した場合は入選を取り消します)
- *応募作品は返却しません
- *審査や結果に関するお問い合わせには応じかねます
- *規定文字数内であれば、文字数の多寡は審査に影響を及ぼしません
- *学校・学級・クラス単位の応募も可能です
- *入選作の著作権は主催者に帰属します
- *入選作品は、作品、作者名、年齢、市区町村名を
入選作品集やホームページ、新聞等で公表します
- *授賞式内で撮影する集合写真は、後日専用ホームページにて掲載します
- *授賞式の様子は専用ホームページにて、一定期間
動画配信を行います
- *最終選考作品は作品名及び作者名を入選作品集に
掲載します
- *応募で得た個人情報は当事業以外の目的で使用
しません
- *応募にあたっては、上記に同意いただいたものと
みなします

徒然草について

鎌倉～室町期に生きた法師・吉田兼好が、
つれづれなるまま、心のおもむくままに綴った
エッセイ集で、『枕草子』『方丈記』と並ぶ日本
三大随筆文学のひとつ。多彩な全243話で
構成されています。以下は有名な序文です。

つれづれなるままに 日くらし硯にむかひて
心にうつりゆくよしなし事を そこはかとなく
書きつくれば あやしうこそものぐるほしけれ
(することもなく手持無沙汰なのにかまかせて、
一日じゅう硯に向かい、心に浮かぶとりとめ
ないことを、あてもなく書いてみると、不思議に心が高ぶってくることよ)

やわたし 京都府八幡市について

京都府南部に位置し、平安京守護のために建立された石清水八幡宮の門前町として古来より発展。国宝・石清水八幡宮を擁する男山、松花堂庭園、桂川・宇治川・木津川が出会う三川合流域、桜並木が見事な背割堤、流れ橋などの歴史・文化・自然を有し、来訪者に様々な「出会いの物語」を提供する観光まちづくりに取り組んでいます。令和4年に、市制施行45周年を迎えました。



八幡市図書館協議会委員名簿

任期：令和3年12月1日～令和5年11月30日

| 選出分野 | 委員氏名 | 就任 | |
|--------|--|-------|----|
| 学識経験者 | <small>コマキ ケニ</small> 小牧 久仁 元八幡市立小学校校長 | 平成29年 | 3期 |
| 社会教育団体 | <small>ヨシカワ エイキ</small> 吉川 栄樹 青少年育成団体 | 平成30年 | 3期 |
| | <small>ヤマモト ハルヨ</small> 山本 晴代 朗読ボランティアサークル | 令和元年 | 2期 |
| | <small>マスイ ユリコ</small> 梶井 裕里子 PTA連絡協議会 | 令和5年 | 1期 |
| | <small>オオサワ</small> 大澤 かおり 女性団体代表 | 令和3年 | 1期 |
| | <small>サイノウ ヨウコ</small> 齊藤 陽子 八幡おはなしの会 | 令和4年 | 1期 |
| 学校関係 | <small>コヤマ カズユキ</small> 小山 和幸 校長会 | 令和5年 | 1期 |
| 市民公募 | <small>ヒライ ナホ</small> 平井 菜穂 市民公募 | 令和3年 | 1期 |